

令和6年6月29日

futbol y vida

Poco a poco ...
boco y boco ...



地区トップリーグ初勝利を目指し日々精進!!
少年サッカー大会は、次回は第10回!!

地区トップリーグは四戦終了!! 未だ片目が開かずに大苦戦中!!

この夏、もっと実力をアップし“K's Football style”を進化させる!!

六月下旬に、例年より二週間遅れて関東甲信越地方も梅雨入りしました。今年は、一度に降る雨量も多く、グラウンド種目泣かせの時期ですが、片倉高校のグラウンドは水の引きが速いのが強みです。20ミリの雨が降っても二時間後にはボールが蹴れます。また、今年度はお近くの日本文化大学の人工芝グラウンドをお借りして練習を行っています。基本的にトレーニングに支障をきたすことなく予定通り行えています。

六月に入り16日～四週間に亘り地区トップリーグを闘っています。インターハイ代表校（帝京・駒大高）が決まるまで各リーグ戦が止まっていたので仕方ありません。上位のカテゴリーのユースリーグの日程に関しては、学校行事（もちろん定期考査も）は全く考慮しません。



<前日の大雨も問題なし>

地区トップリーグでは大苦戦中!! 初勝利を目指し奮闘中・・・。

地区トップリーグ再開後の四連戦で巻き返しを図るためにトレーニングしてきました。このシリーズを3勝1敗で抜けたかったのですが、日体大荏原・東久留米総合戦二連敗と今のところ初勝利はお預けとなっています（6月27日現在）。メンバーは先の関東大会・インターハイと大きく変わりませんが、ゲームのポイントで決定機を外したり、イージーなミスやセットプレーから失点することが多く、相手に流れを持っていかれてしまいます。点差ほど実力差がないと感じていますが、さすがに負けが続くと子どもたちも自信を無くしてしまうものです。リーグ戦は一年間の闘いであり、その年のチームの総合力が問われます。そういう意味では、残念ながらこの時点では実力通りかもしれません。50期が上げた地区トップリーグから一年で落ちるのは屈辱的です。夏の合宿前の二連戦でどうにか初勝利をしたいものです。



<地区トップリーグでは大苦戦中!! 臥薪嘗胆の精神で乗り切る!!>

フィジカルテストで成長を確認!! 日々の積み重ねの重要性を再認識!!

6月20日(木)、F&V社による「**フィジカルテスト**」を日本文化大学本校のグラウンドで実施しました。二、三年生は、前回新チーム立ち上げ時の昨年12月に計測して半年が経過し、トレーニングによって数値がどれくらい上がっているのか? いないのか? その成果の確認を楽しみにしていました。測定結果はスマホから見ることで診断をしてくれるシステムになっています。また、同じ年代の全国の強豪校のデータと照らし合わせるなど、Jリーグ、大学等200校以上、20,000人以上の情報をもとに自分の現在地を知ることができます。今回は、人工芝での計測ということもありかなり高い数値を叩き出したものもいるようです。さて、このデータをサッカーにどのように絡めていくのか? ここが、私たちスタッフの課題であり日々学ぶべきところです。

日々のトレーニングの継続そして努力によって、普通の高校サッカー少年たちが強豪校の選手に近づけるのが片倉高校サッカー部の魅力でもあります。この成果を選手権・地区トップリーグに繋げていけるようにトレーニングを工夫していきたいと思います。



＜初の人工芝でのフィジカルテストもありモチベーションも高くなり好成績も期待できる＞

「**第九回 K's football 少年サッカー大会**」

～令和から未来へ、日本のフットボールを変えるのは君たちだ 九年後ここからW杯出場選手を～

6月29日(土)、「**第九回 少年サッカー大会**」を行いました。今年度最初のサッカー大会の開催となります。参加チームの10チームは、ほとんどが現部員のジュニア(小学校)時代の出身チームであり今の彼らのベースを作って頂いた場所です。自分の教えた子どもたちが高校でもサッカーを続けて、小学生(後輩)たちに関わっている姿は嬉しいものです。中には久しぶりに再会するコーチたちに声を掛けられたり懐かしそうに話しをする姿も見られました。これが大会の目的のひとつでもあり、少年サッカー大会開催の意義を感じています。数年後に片倉高校サッカー部に憧れてユニフォームに袖を通し、高校サッカーで活躍するサッカー少年が増えるといいですね。

